

# やなかわ

YANAGAWA 2011.

No.162

12月15日

## 今号の内容

- ◆今年の冬も省エネ・節電にご協力を 2~3  
 ◆柳川市民まつり、おいでメッセ柳川ほか 4~5  
 ◆子宮頸がん予防ワクチン接種ほか 6~7  
 ◆市民のひろば(8-9) ◆俳句(9) ◆情報わいど(10-13) ◆がんばったね・めくもり(13-14) ◆もちふみデビュー(15) ◆人権・同和教育シリーズ(16)

「こっぽりー」だよ。  
 みんなよろしくね。



## 柳川のมาสコットキャラクターが誕生

柳川市มาสコットキャラクター公募事業実行委員会は、公募していたキャラクターの名前を「こっぽりー」に決定し、11月26日の第7回柳川市民まつりで名前と着ぐるみを披露しました。同委員会が、市の市民協働まちづくり事業の採択を受けて実施し、昨年の市民まつりで掘割の妖精をイメージしたキャラクターとしてデザインを発表。今年7月から8月にかけて名前の公募を行い、200点の中から国武敏明さん(鬼童町)が「こっぽらーと堀に遊んでいる」というイメージで応募した「こっぽりくん」をもとに、「こっぽりー」と名付けられました。12月3日に開店した柳川ブランドショップ「おいでメッセ柳川」に駆け付けたこっぽりーに、来店者から「かわいい」と声が上がりました。

## ◆人権・同和教育シリーズ…No.80

# 人権作文

## 人権について



もりりょうへい 森 滝平 くん

ぼくは、「めぐみ」というDVDを見ました。その話は、横田めぐみさんが「ち」されて、それをがんばって帰して帰してお願いしつづけていく話です。

めぐみさんが生まれた時に、お父さんが一番願っていたことは、みんなで幸せにくらすことでした。何も悪いことをしていないのにかわいさうでした。ぼくは、「ち」という言葉は知りませんでした。でも、このDVDを見て、とてもおそろしいことだと思いました。

めぐみさんのお母さんやお父

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、有明小学校5年生の2人です。

## うれしかったこと



かいだあやの 甲斐田 郁乃 さん

あなたは、友だちと何かをしていて、うれしいなあと思ったことがありますか。私はありません。

私は、今年の2学期に福岡市の大楠小学校から柳川市の有明小学校へ引っ越しをしてきました。今までは、新しい学校へはじめて行っても、少し話すぐらいで1日が終わっていました。しかし、この学校では、わからなかったりしてもすぐに教えてくれたりします。でも私は、もっとうれしいことがあって、それは、有明小学校へはじめて行っ

た日、放課後5年生みんなが遊ぼうとさそってくれたことや、家に遊びにきてくれたことです。その時、私は、この学校にきてよかった。これからもこの学校にずっといたいと思いました。

私は、このことから、友だちというのは相手を思いやり、みんな差別をせず、仲よくした方がいいと思います。もし、いじめなどをすると、やった人は忘れず。でも、やられた人は一生心に残ります。なので、いじめではなく、友だちの心の中にも、自分の心の中にも、うれしかった思い出がたくさん残っていくといいと思います。

【評】拉致の問題を通して、友達や家族と一緒に過ごせる幸せに気付くことができました。

不安なときにかけてくれる友達の言葉は、とても心が温かくなります。自分や友達の心の中を、うれしかった思い出でいっぱいにしてほしいです。

人権	
	環境
	共生